

<添付資料 1 >

**寄付講座の概要について**

- 1 講座名称 : 「建築構成材デザイン工学 (AGC 旭硝子) 寄付講座」  
「Architectural Material & Component Design Laboratory」
- 2 設置場所 : 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻
- 3 設置期間 : 2010年 4月 1日～2013年 3月 31日 の3年間
- 4 寄付者 : 旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦
- 5 担当教員 : 特任教授 西出 和彦 (工学系研究科建築学専攻教授兼務)  
特任准教授 佐藤 淳  
特任助教 5月就任予定  
特任研究員 5月就任予定

6 寄付講座の内容

・活動の課題

これまで建築分野で用いられることが少なかった素材、或いは適用される部位が限定されていた素材に関して、その新しい適用の可能性を研究・教育の場で発見・評価し、建築空間での異なる素材の組合せ効果等を明らかにする。

その成果に基づき建築構成材デザインの方法論を確立し、建築教育の場でこれを活かす。

・期待される効果

建築に用いる素材の選択範囲の拡張が、建築表現及び建築空間の質の新たな展開に結び付くこと。

日本建築に国際的な先導性をもたらすとともに、建築関連素材産業に新しく貢献できる市場を創出すること。

新しいデザインの方法を身につけた若い人材の育成を促進すること。

・活動構成

①研究

**建築素材の新しい適用の可能性に関わる研究、**

**建築空間での異なる素材の組合せ効果を明らかにする研究**

多様な素材による多様な形態を並列にとらえ、統一的な構造設計法に結びつける研究

複数の素材を併用することにより、エネルギー吸収能力を高める構造の研究  
実施プロジェクトと関連させ、現実的な応用可能性を示す。

②教育

建築計画、構造計画についてより実践的な教育を行う

③公開講座、ワークショップ

他大学学生や建築界の専門家の参加を可能にする講座、ワークショップを年数回開催する

④情報発信

大学教員・研究生と建築設計技術者の交流を図るイベント、研究会の開催、ホームページの開設、等によって情報発信を行う

以上